



平成 24 年 3 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社プロルート丸光
 代表者名 代表取締役社長 前田 佳央
 (JASDAQ・コード：8256)
 問合せ先 取締役管理本部長 安田 康一
 (TEL 06-6262-0303)

業績予想並びに配当予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月期（平成 23 年 3 月 21 日～平成 24 年 3 月 20 日）におきまして下記のとおり特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 8 月 2 日に公表した平成 24 年 3 月期の連結業績予想及び平成 23 年 5 月 6 日に公表した平成 24 年 3 月期期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 3 月 21 日～平成 24 年 3 月 20 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	22,160	150	10	130	7.74
今回修正予想(B)	19,900	△410	△570	△2,520	△151.02
増減額(B-A)	△2,260	△560	△580	△2,650	
増減率(%)	△10.2	—	—	—	
(ご参考)前年実績 (平成 23 年 3 月期)	23,841	△568	△744	△1,208	△67.40

(2) 平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 23 年 3 月 21 日～平成 24 年 3 月 20 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	21,250	30	200	11.90
今回修正予想(B)	19,300	△400	△2,640	△158.21
増減額(B-A)	△1,950	△430	△2,840	
増減率(%)	△9.2	—	—	
(ご参考)前年実績 (平成 23 年 3 月期)	22,528	△400	△1,081	△60.28

(3) 修正の理由

<連結業績>

売上高につきましては、顧客である衣料小売店が、依然根強い消費者の節約志向を受け、店頭の在庫圧縮を推し進められたことに加え、天候不順による消費実需が遅れ、特に昨年 11 月と進行中の第 4 四半期が前年を下回っており、通期予想を下回る見込みとなりました。また、2 月には大阪の 2 館営業体制を 1 館に集約し、顧客の利便性向上、相乗買上げによる売上向上を図っておりますが、浸透は今後であり、来期以降の業績に寄与する見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、前述の1館営業体制をはじめ、グループをあげて経営、業務の効率化に取り組み、予想以上の営業費削減を図っておりますが、売上高の減少及び原価率のアップによる粗利益減をカバー出来ず、通期予想を下回る見込みとなりました。

また、当期純利益につきましては、営業・経常利益の予想下回りと、大阪2号館の固定資産譲渡決議による減損損失約21億円の特別損失計上のため、通期予想を下回る見込みとなりました。

<個別業績>

個別業績の修正理由につきましては、連結において記載した理由と概ね同様ですが、連結子会社であります株式会社グローバルルートに対する貸付債権の株式化により取得した株式の評価損270百万円を親会社である当社において特別損失として計上する見込みであります。

(4) 次期の見通し

次期につきましては、引き続き厳しい経営環境が続くことが予測されます。現在、ビジネスコンサルティング会社の協力も得て、各種施策を検討、実施予定としております。次期は現在策定中の中期事業計画の初年度として、「変革」をテーマに各種施策を着実に実行し、個別、連結において黒字化を果たしてまいります。

売上高、粗利益拡大につきましては、基幹事業である前売卸売業において市場に適合させるべく組織再編で前売り売場の強化を図るとともに、連結子会社を絡めたサプライチェーンシステムを構築し、アパレル事業並びにオリジナル商品強化による収益向上と売上拡大に取り組んでまいります。

営業費につきましては、大阪1館体制による管理コスト削減、東京店運営合理化、天理流通センターの外部委託化、大阪2号館の固定資産譲渡による有利子負債圧縮、借入コスト削減等を予定しており、更なる経営効率改善、コスト削減を推し進めてまいります。

なお、連結子会社を含めまして、次期の施策概要及び業績予想につきましては、平成24年5月上旬に発表する予定であります。

2. 配当予想の修正

(1) 平成24年3月期期末配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年5月6日発表)	—	0.00	—	3.00	3.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成23年3月期)実績	—	0.00	—	3.00	3.00

(2) 修正の理由

業績予想の達成に向けて鋭意取り組んでまいりましたが、上記のとおり、特別損失の計上等の影響により、業績が大幅な赤字となる見込みであるため、誠に遺憾ながら今期の配当については見送らせていただきます。

3. 特別損失の計上

平成 24 年 3 月期第 4 四半期会計期間におきまして、大阪 2 号館の固定資産を譲渡することを決議いたしました。これに伴い減損損失として約 21 億円の特別損失を、連結及び個別業績において計上する見込みであります。固定資産の譲渡に関しましては、本日発表いたしました「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。

また、同会計期間において、連結子会社である株式会社グローバルルートに対して増資を行うことを決議いたしました。これに伴い、個別業績において子会社株式評価損として 270 百万円の特別損失を計上する見込みであります。なお、本件に伴う連結業績への影響はありません。詳細につきましては、本日発表いたしました「子会社の増資に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上